

関係者各位

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午前、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で200 cells/mL、ヘテロシグマ・アカシオが最高で150 cells/mL、シャトネラ属が最高で1 cells/mL、ケラチウム属が最高で16 cells/mL確認されました。

カレニア・ミキモイが増殖傾向にあり、赤潮となるおそれがありますので、十分注意してください。また、海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン (cells/mL)

調査地点	水深	水温 (°C)	塩分	溶存酸素量 (mg/L)	カレニア・ミキモイ	ヘテロシグマ・アカシオ	シャトネラ属	ケラチウム属
鳴無	0m	23.4	26.4	11.3	2	2	0	0
	2m	23.2	31.6	12.6	5	150	0	5
	5m	22.1	32.8	9.9	200	0	1	4
中学校前	0m	21.9	24.0	10.2	12	0	0	1
	2m	23.1	31.2	11.8	11	0	0	6
	5m	21.6	32.5	9.1	15	0	0	10
	0-10m	-	-	-	50	-	-	-
目の糞	2m	22.6	30.7	10.9	4	10	0	1
	5m	21.2	32.3	8.2	16	0	0	16
	8m	20.8	33.1	6.5	3	0	0	11
光松	0m	22.4	26.0	9.3	3	0	0	0
	2m	21.8	30.3	9.2	2	10	0	4
	5m	21.0	32.2	7.3	16	0	0	5

漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ: 数百～数千cells/mL (魚類等のへい死)
- ・ヘテロシグマ・アカシオ: 50,000～cells/mL (魚類のへい死)
- ・シャトネラ属: 10～100cells/ml (魚類へい死)
- ・ケラチウム属: 100～cells/mL (餌食いの悪化)

